

YATOかわら版

500年の
Commonを
考える



YATO

第2号 2019年12月

発行

YATOプロジェクト事務局

東京都町田市忠生2-5-3

<https://yato500.net>

ただお 忠生のはなし

フクロウとハリギリの木

話を聞いた人・築田寺 齋藤美智子さん

今から20年前の5月、境内にある稲荷神社の前で「あれは何ですか？」と聞かれたことがあります。指さされた先を見ていると、そこにはぬいぐるみのようなものが置かれていました。すると突然、そのふわふわしたものがぐるっと360度回って。そう、それはフクロウさんだったんです。

それからもう、毎年毎年5月の神社の森は大騒ぎ。こどもの日のあたりは、フクロウさんが巣立つ時期なので、「ギヤア

ギヤア」と鳴くんです。それがだんだんと「ビチュウビチュウ」という音になって、「ホーホー」となります。ここは谷戸とよばれる、谷状の地形なので、木のはしからはしへの距離が、空を飛ぶ練習をするのにちょうどいいようです。

フクロウさんたちは、神社の横にあって、ハリギリの木に毎年お家をつくってました。そこがきつとやわらかくあたたかかったのだと思います。まるで木の上で、本当にかわいいのです。

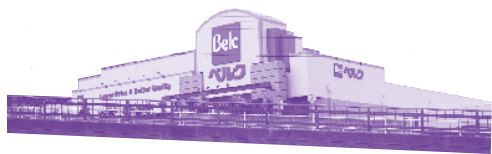


絵：つむぎ

「YATO」プロジェクトは、谷状の地形から「谷戸」とよばれる、忠生周辺地域のことを学び、500年先に生きる人たちにどう伝えていくかを考えるプロジェクトです。

そのハリギリの木は、1000年ぐらい生きていて、東京都の天然記念物に指定されてきました。だから、木が枯れかけたときには、樹医さんといって木のお医者さんがやって来て、いろいろと手を尽くしてくれていました。

でもある日、ハリギリの木に雷が落ちて、根こそぎ倒れてしまったんです。それからしばらくフクロウさんが来なくなりました。戻って来てくれました。ここをふるさとだと思ってくれているのかもしれない。昨日の夜も月がきれいだったから、「ホーホー」と鳴いていました。フクロウさんは、月がきれいなときに来るんですよ。



「ベルク」ちかくの、はしのしたをくぐると……



わさめぼうろ

しゃしんぶん はたのしゅうへい
写真・文：波田野州平

へん
みち
変な道

スーパー「ベルク」の脇に、ちょっと変わった道があるのを知っていますか？ 橋の下をくぐって進んでいくとある場所。草がぼうぼうに生えていて、まるで川の中を歩いているみたい。ここは昔、川だったのかな？

プロジェクトレポート Y・A・T・O 日記

9月の「YATOの縁日」で、ちょうど日が落ちる時間からはじまった影絵の公演には、たくさんの人が集まりました。忠生の伝説「龍王ヶ池」をもとに、みんなで作くり、それぞれが自分の役を演じた影絵。参加したやとつ子に感想を聞いてみました。「失敗しないか、すごく心配だったけど、はじまったら楽しくて緊張がとけました！」



絵：ひなた



忠生・町田周辺に暮らす、小学生チーム「やとつ子同盟」。アーティストや年長者といろんなものをつくりながら、忠生の歴史や文化に触れる、遊びと学びの場です。

12月22日（日）10時～13時、築田寺でもちつきと「YATOの年の瀬」をやるから、ぜひ遊びにきてね！（参加費無料、自由参加）

1月13日（月・祝）は、昔の映画に使われていた16ミリフィルムに、絵を描いてアニメーション映画をつくりまします。（参加費500円、4歳以上、要申込）

「やとつ子同盟」参加者募集中！
YATOの年の瀬や映像のワークショップなど、興味があったらぜひ参加してね！くわしくは、ホームページ（<https://yato500.net>）をチェック。